

研究成果を発表する学生＝半田市の街かどサロンかめともで



半田・亀崎地区で研究 大学生7人活動報告

半田市亀崎地区で研究やフィールドワークを行ってきた大学生たちが、十九日、同地区の交流拠点「街かどサロンかめとも」で活動を報告した。地区の住民や市の関係者ら約四十人が訪れ、学生の発表に耳を傾けた。

登壇したのは、日本福祉大学の坂口大史准教授のゼミ（建築意匠計画、設計など）で学ぶ三、四年生五人と、名城大の生田京子教授のゼミ（建築空間など）で学ぶ四年生二人。各自が研究内容をスライドにまとめ、来場

者の前に映し出しながら分析や結果を報告した。

亀崎地区内の建物を拠点に「木質空間が利用者に与える効果」を調べた学生は、八十人を超える住民へ実施したテスト結果をもとに「木質空間では、被験者のうち五割強の脈拍が下がった」「怒りや混乱、緊張といった感情は木質空間で下がり、非木質空間で上がった」などと紹介。他にも手の込んだ研究や発表が多く、参加者からは質問や感想が相次いでいた。

（高田みのり）